



こどもクリニックニュース

NO. 186 平成27年7月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年8月まで)

8月	3日	(月)	2才健診	騎西・保健センター
	5日	(水)	2才健診	加須・保健センター
	24日	(月)	3才健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。
また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。
7月は当番ありません。

当院の診療スケジュール (週間)

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前	○	○	/	○	○	○	/	/
午後	○	○	/	○	○	/	/	/

受付時間：午前8:30～12:00、午後14:30～18:00

お盆の診療予定

8月13日(木)～15日(土)は、通常通りに診療します。
※土曜日は午前のみ。

休診の予定

8月16日(日)～23日(日)は休診といたします。



小児科休日診療の予定

平成27年10月までの当番一覧です。

7月	20日	(月)	ともながこどもC
9月	21日	(月)	加藤こどもC
	22日	(火)	ともながこどもC
	23日	(水)	福島小児科医院
10月	12日	(月)	ともながこどもC

診療は9:00～12:00です。

4月～10月までは、祝日のみの診療となります。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

感染症の情報

流行状況は、この数ヶ月間大きな変化はありません。目立つのは胃腸炎(嘔吐、下痢、発熱)とリンゴ病、おたふくかぜ、溶連菌感染症です。少ないながらも水痘(みずぼうそう)が幼稚園～小学生くらいの年齢のお子様で散見されます。(水痘ワクチンを2回接種したお子様ではほとんど見かけません。)埼玉県内では、手足口病やヘルパンギーナ、プール熱の報告数が増えてきています。加須周辺でも今後増えるものと思われます。

リンゴ病の流行が続いています。過去の流行のパターンでは、これから夏にかけてピークが来ると言われていますので引き続き注意してください。

伝染性紅斑(りんご病)



<症状> ほっぺがりんごのように赤くなります。太ももや腕に赤い斑点やまだら模様ができることも多いです。子供では、熱はほとんど出ません。

<原因> ウィルスが原因で、人から人へうつる(感染する)病気です。ただし皮膚の症状が出たときは、すでにうつす時期をすぎているので、隔離の必要はありません。ワクチンはありません。

<経過> 特別な治療はなく、自然に治るのを待ちます。かゆみが強いつきはかゆみ止めを使います。通常、1～2週間ほどで発疹は出なくなります。

運動や長風呂などで体が熱くなると、一時的に赤みが強くなりますが、涼しくしていると戻ります。

<妊婦さん> 妊婦さんが感染すると、稀にお腹の赤ちゃんに障害が出ることがあります。感染の疑いがある時は、次の検診のときに、産科の先生に相談して下さい。

熱中症に注意

湿度が高く、ジメジメした日が多いです。このような時期は、気温が高くなくても汗が乾きにくいいため体温が高くなる場合があります。特に運動するときは熱中症に十分気を付けてください。小さな赤ちゃんは、重ね着をしているだけでも熱がこもって一時的に体温が上がる(=熱が出る)ことがあります。お母さんたちが「暑い!」と感じた時は、赤ちゃんの服も1枚脱がせてくださいね。

晴れた日の車の中は、予想以上に温度が上がっています。また舗装道路の表面は50度以上になる場合があります。ドライブやベビーカーでの移動にもご注意ください。

暑い夜の過ごし方・・・

今はまだ夜中は涼しい日が続いていますが、これから「熱帯夜」も増えてくると思います。熱中症にならないためのそんな夜の過ごし方、ワンポイント。

- ① エアコンは朝まで連続運転。
エアコンを使うときは部屋を閉め切っているはずですね。タイマー設定でエアコンを夜中に切ると、次第に温度が上がっていくことがありますので注意してください。
- ② 扇風機を併用しましょう
エアコンだけでは、室内の冷たい空気の場所が偏ることがあります。扇風機を使って、部屋の空気を循環させるのが効果的です。



赤ちゃんの「あせも」対策

暑い時には汗は出るもの。お薬に頼るまえに・・・

夏の暑さに体を慣らすことも大切ですが、汗でベタベタしているときは、シャワーなどで簡単行水。1日に何回でもOK。汗を流すだけですから石鹸やシャンプーは不要。その後30分くらいエアコンの効いた涼しい部屋で一休み

汗で濡れた服を着替えることも有効ですが、涼しい部屋で一休みすることを忘れずに!

ベビーパウダーは、お肌のトラブルを増やしているような印象がありますので、お勧めしていません。

「髄膜炎菌ワクチン」が発売されました。

5月号でも紹介していた、「髄膜炎菌」という細菌による感染症を予防するワクチンです。

髄膜炎菌は、ヒブ(インフルエンザ菌b型)や肺炎球菌に比べるとかなりめずらしい病原菌ですが、学校の寮や寄宿舎などで流行・集団発症することがあり、一旦発病すると急激に症状が悪化することが多く、死亡率が非常に高いのが特徴です。外国では日本に比べて患者数が多いため、定期接種ワクチンとしている国が多いです。日本では今のところ任意接種(有料)です。

転勤や留学などで、海外に長期滞在する方は是非接種をお勧めします。ご希望の方はご連絡ください。

接種回数 1回(筋肉注射)
当院の接種料金 22,000円

夜間や休日の子供の急病対策は?

① 埼玉県小児救急電話相談(#8000)

家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が電話相談に応じます。

② 子供の救急(日本小児科学会)

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。<http://kodomo-qq.jp/>

③ 埼玉県救急医療情報案内

受診可能な医療機関の名称・所在地・電話番号を案内します。
(24時間、365日) 048-824-4199

当院のホームページにも「夜中の急病 どうしたらいいの?」というタイトルで発熱や嘔吐した時の対応を紹介しています。ご参考にしてください。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。



加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150